

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		お子さんが遊べるスペースが広くなるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		個別対応をしているため、必ず担当がつくように配置しています。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		お子さんに合わせてパーティションで仕切りをつけられるようにしています。玩具を箱に収納し片づけやすいよう工夫をしたり、必要に応じて絵などの視覚的指示を活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		午前と午後に1回ずつ室内の消毒・換気を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎週のスタッフ全員参加の会議と毎日の振り返りの中で実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ホームページを活用して活動の概要を公開するなど、今後も改善を図っていきたいと思います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		経営に関して、月1回税理士の監査を受けています。また、札幌こころの診療所との連携し業務改善を図っています。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修の実施、外部機関による研修会や交流会に積極的に参加しスタッフの資質向上を行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の遊びの中で常にアセスメントし記録しています。その内容を元に支援計画を立案しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		札幌こころの診療所と連携を図り、検査などの結果を踏まえてアセスメントを行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		支援者が変わっても日々の中で実施できるように、支援計画に具体的な支援内容を記載するようにしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に基づいて支援ができるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週1~2回、スタッフ全員参加の会議で決定しています。
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		活動後に振り返りをし、お子さんの様子に合わせて見直すなどより良い内容となるよう話し合っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動を中心としながら、常にお子さんの集団への興味関心についてアセスメントし、記録・支援計画立案しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前日に翌日のスタッフの動きを確認するようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		スタッフ間で1日の振り返りをする時間を設け、共有しています。
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その日のうちに記録し、自身の支援を振り返るようにしています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回は必ず見直しを行っています。その他、週1回のスタッフが参加する会議で定期的なケースカンファレンスを実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		支援担当者が参加できるよう必要に応じて調整しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて関係機関等との会議にも参加しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	今まで対象児はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか		○	今まで対象児はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		個別支援計画を渡してもらうように保護者の方をお願いしています。また、必要に応じて訪問・電話での情報共有もしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		個別支援計画をお渡しする他、保護者からの希望に応じて小学校の先生と話をする機会を設けています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や交流会に積極的に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	当事業所は個別セラピーを中心のため交流はありませんが、通われている保育園や幼稚園に訪問し、様子を共有する機会を作っています。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今後検討していく課題です。
	30	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		事業所内相談支援を実施し、保護者の方と毎月話す時間を確保するよう調整しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		必要に応じて個別に保護者の方とお子さんの関係性を改善するためのプログラムを行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には丁寧に、変更時は迅速に説明するよう心掛けています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		立案時にお子さんの成長と今後の課題を確認し合い、同意を得るようにしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		事業所内相談支援を実施する中で行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会等はありませんが、保護者の方同士がつながる機会となるよう研修会を企画しています。またグループセラピーへの参加の中で、保護者同士の交流も生まれています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		担当者だけではなく、必要に応じて児童発達管理責任者等とも話す機会を作り、対応できるようにしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	活動の様子は退室の際などにお伝えするとともに、プライバシーに配慮しながらホームページ等で定期的に療育の様子を公開しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		鍵がついた棚で保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて絵や資料など視覚的な情報を作成し提示しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		○	イベント等は設定していません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
非常時等の 対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか	○		札幌こころの診療所の医師や看護師とも相談しながらマニュアルを作成しています。今後、保護者の方にも周知していく予定です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		ビル全体の避難訓練に必ず参加しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		保護者とのお話の中で確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○		事例があった際には速やかに作成し、共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		札幌市より提供された研修等を活用して対応に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束は行っていません。今のところ、その必要性もないと感じています。